



(iii) 環境負荷を低減する行動変容

脱炭素社会の実現を目指すためには、社会システムの変革に加え、1人ひとりの行動変容を促すことでライフスタイルの変革につながられるような取組みも必要です。

家庭や事業所で使用する電力を再生可能エネルギーに転換する。または、次世代自動車に乗り換えるといった取組みが、最も効果的で重要な取組みです。

その他に「食品ロスの削減」も大切です。国連食糧農業機関(FAO)によると、収穫・生産から製造・小売・外食・家庭というフードサプライチェーンの中で発生する食品ロスによって、世界で44億トンのCO₂が排出されていると試算されています。

無理のない形で行動変容を促すためには、行動科学の理論に基づくアプローチが有用であり、費用対効果が高く、対象者にとって自由度のある「ナッジ」という新たな政策手法が注目されています。情報発信のデジタル化等、広報啓発の方法を工夫しながら、個人の日常生活における行動変容を後押しし、社会全体に広げていけるような取組みを進める必要があります。

【ポイント①】行動変容の例(UNEP)

国連環境計画「排出ギャップ報告書 2020」で示された、行動変容で実現できるCO₂の排出が少ない暮らし方の例として、次のようなものがあります。

行動変容と削減ポテンシャル

分野	行動変容の例	削減ポテンシャル	施策の例
モビリティ	長距離往復フライトの削減	約1.9tCO ₂ /年・人	国内旅行へのインセンティブ、リモート会議
	公共交通への転換	約1.0tCO ₂ /年・人	自転車利用の促進、カーシェアリング
	電気自動車の利用	約2.0tCO ₂ /年・人	専用レーンの整備、ソーシャルマーケティング
住宅	ヒートポンプの導入	約0.9tCO ₂ /年・人	経済的インセンティブ、標準化
	家庭での再生電力利用	約1.5tCO ₂ /年・人	インフラ整備、共同購入
食品	菜食への移行	約0.5tCO ₂ /年・人	サプライチェーンの構築
	有機食材	約0.5tCO ₂ /年・人	消費者との協同

出典:「国内外の最近の動向及び中長期の気候変動対策について(2021年1月/環境省)」より



【ポイント👉】ナッジ(nudge:そっと後押しする)とは

「ナッジ(英語 nudge)」とは、ひじ等でそっと押して注意を引いたり前に進めたりすること、特定の決断や行動をするようにそっと説得・奨励することを意味する言葉です。

行動科学の知見(行動インサイト)の活用により、「人々が自分自身にとってより良い選択を自発的に取れるように手助けする政策手法」であり、2018年に初めて、国の成長戦略や骨太方針にナッジの活用が位置付けられ、行動変容につなげるための手法として、今後更なる研究・実証が期待されています。

【例】省エネレポートの定期的な送付により、省エネ行動への誘導

- ①他の世帯との比較(同調性、社会規範)
所属する集団内でのほかのメンバーの実態と望ましい水準を理解
- ②損失を強調したメッセージ(損失回避性)
「ものを得る喜びより失う痛みの方が強く感じる」という行動経済学の理論を応用

【ポイント👉】再配達防止について

国土交通省の調査によれば、宅配便が再配達されている割合は約2割であり、宅配便の再配達によって年間約42万トンのCO₂排出量が増加するなど、環境負荷の増加や社会的損失を招いていることから、再配達削減に向けて新たな取組が必要となっています。

環境大臣をチーム長とする「COOL CHOICE 推進チーム」において、再配達防止に向けたキャンペーンを立上げ、

- ① あらかじめ受け取れる時間帯の指定
- ② 宅配業者の営業所やコンビニなどの受け取りが可能な場所を指定などの取組を呼び掛けています。

本市でも、同キャンペーンに賛同するとともに、PR動画などを作成して、周知啓発を行っています。

再配達防止 PR 動画





【ポイント】省エネラベル

省エネ法で定めた省エネ性能の向上を促すための目標基準(トップランナー基準)の達成度合いをラベルに表示するものです。

省エネラベルは、カタログや製品本体、包装など、見やすいところに表示されており、こうした表示を参考にして商品を選択することも重要です。

「統一省エネラベル」制度は、2006年から開始されました。

製品個々の省エネ性能を表す省エネラベル、市販されている製品の中で相対的に位置づけた多段階評価、年間の目安電気料金(または目安燃料使用量)などを製品本体等に表示するものです。

「統一省エネラベル」が表示される製品は、エアコン、電気冷蔵庫、電気冷凍庫、液晶テレビ、電気便座、蛍光灯器具(家庭用)です。

統一省エネラベルの例

①多段階評価点
市場における製品の省エネ性能の高い順に5.0~1.0までの41段階で表示(多段階評価点)。★(星マーク)は多段階評価点に応じて表しています。

★★★★★	5.0	★★★★☆	2.5~2.9
★★★★☆	4.5~4.9	★★★☆☆	2.0~2.4
★★★★☆	4.0~4.4	★★☆☆☆	1.5~1.9
★★★☆☆	3.5~3.9	★☆☆☆☆	1.0~1.4
★★☆☆☆	3.0~3.4		

②省エネルギーラベル
省エネ性マーク、省エネ基準達成率、エネルギー消費効率、目標年度を表示。(詳細は06ページ参照)

③年間の目安電気料金
エネルギー消費効率(年間消費電力量)をわかりやすく表示するために年間の目安電気料金で表示。

電気料金は、公益社団法人 全国家高電気製品公正取引協議会「新電気料金目安単価」から1kWhあたり527円(税込)として算出。

新登場 ミニラベル
ミニラベルは多段階評価点を表示します。
※新ラベルに比べて小さいサイズのラベルですが、Webサイトなどの限られたスペースでも、省エネ情報を分かりやすく表示できます。

その他、ラベルを見やすくするため、文字を減らすなどを行いました。

出典:「2020年省エネラベルガイドブック(資源エネルギー庁)」より